

Auto Capsule



COWON AW2
ユーザーズマニュアル ver 1.0 JP

+ 著作権および商標

一般

- + Auto CapsuleとCOWONIは(株)COWONシステムの商標です。
- + 本マニュアルのすべての内容は著作権によって保護されています。
- + 本マニュアルに使われているその他の製品およびサービスは当該所有権者の登録商標です。
- + プログラムのすべての権利は(株)COWONシステムにあり、著作権によって保護されています。
- + 本マニュアルは現在の製品仕様を基準にして作成されています。ここに記載されている各種の例文、図表や例示用の写真、製品の詳細の機能およびH/W・S/Wのスペックは別途の予告なしに変更される場合があります。

注意事項

- + 本マニュアルは現在の製品を基準にして作成されており、編集上のミスや記載漏れがある場合があります。
- + 重要な録画ファイルは随時にバックアップを取ってください。
- + データ損失や録画エラーについて、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

+ CONTENTS

ご使用になる前に	6
製品の特徵	
ご使用の際の注意事項	
パッケージの付属品	
各部の名称と機能	
オートカプセルの設置	
常時電源の接続	
基本機能	19
録画開始	
走行録画	
駐車録画	
録画終了	
イベント発生	
モーション感知	
動作ステータスLEDの説明	
メモ리카ードの安全な取り外し及びフォーマット	
ボタン動作の説明	
付加機能	
ファイルの管理	

+ CONTENTS

応用機能	25
スマートマネージャーのWi-Fi接続	
スマートマネージャー	
PCマネージャー	
フロント・バック録画の同期	
自動終了タイマー	
駐車認識電圧の設定	
自動終了電圧の設定	
駐車中の連続録画	
ファイル削除の設定	
Gセンサーの感度	
モーションの認識感度	
追加説明	33
製品仕様	

ご使用になる前に

+ 製品の特徴

2チャンネルとも Full HD 高品質映像録画

+ フロント、バックとも 1920X1080 画素の 1/2.7" 大型イメージセンサーを搭載、2チャンネル Full HD / 30fps / 16:9 Wide の高画質の映像を録画します。

ドライブレコーダーの特性に最適化されたスマートイメージセンサーアルゴリズムを搭載

+ 昼間、夜間、トンネルへの出入りなど、多様な条件に素早く安定的に対応します

広い視野角

+ 対角を基準に140°の広い画面を録画します

様々な録画機能及び便利な検索

+ 走行録画及び駐車録画のための様々な機能設定が可能で、録画映像は一般、イベント、モーションファイルに区分されるため、検索が便利です。

Gセンサーの内蔵

+ 3軸加速度センサーで外部衝撃を感知して、自動録画する機能を提供します。

モーションセンサーの内蔵

+ 駐車録画の際に動きを感知して、自動録画する機能を提供します。

ご使用になる前に

+ 製品の特徴

バックアップバッテリーの内蔵

+ 突然電源に異常が発生しても、内蔵バッテリーによって最後の録画ファイルを安全に保存します。

メモリーカードの安全な取り外し及びフォーマット機能の提供

+ 録画ファイルの安全な保存のために「メモリーカードの安全な取り外し」及び「フォーマット」機能を提供します。

様々な動作の案内機能

+ 状況別の音声案内、効果音、3色のLEDによってオートカプセルの動作状態を把握できます。

スマートマネージャーの提供

+ Wi-Fiに接続後、スマートマネージャーのアプリケーションを利用して、録画ファイルのダウンロードや再生ができます。また、録画中のリアルタイムの映像を確認できるライブビューや様々な機器の設定ができます。

PCマネージャーの提供

+ PCマネージャーを利用して録画映像及びGセンサーの衝撃量を確認でき、録画ファイルの管理や画面のキャプチャもできます。

駐車録画の自動実行 1)

+ 駐車の際の電圧を自動感知して、駐車録画を実行します。

ご使用になる前に

+ 製品の特徴

駐車録画の自動終了タイマー対応 ²⁾

+ 車両バッテリーの保護のため、一定(設定可)の時間後、録画を終了し、自動で電源をオフにします。

録画自動終了電圧の設定機能

+ 車両バッテリーの保護のため、バッテリーの電圧が設定電圧以下に下がると自動で電源をオフにします。

高温保護機能

+ 一定以上に温度が上昇すると、録画を一時停止し、製品を保護します。温度が下がると自動で再開します。温度が下がれば自動で再び動作します。

外付けGPS接続機能

+ 外付けGPS受信機を接続すると車の位置やスピード情報が記録され、PCマネージャーで内容を確認できます。

^{1) 2)} 常時電源に接続された場合のみ、利用可能

ご使用になる前に

+ ご使用の際の注意事項

ユーザーの安全や財産上の損害などを防ぐための内容ですので、次の事項を必ず熟知したうえでご使用ください。(警告や注意事項を守らなかった場合に発生した事故に対して、弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください)

1. 電源関連

- + 重大な事故によって製品そのものが破損したり、電源が切れたりした場合、事故映像が録画されていない可能性もあります。
- + 本製品を任意で分解・改造しないでください。感電および製品の破損、録画された映像データ損失の原因となります。内部点検、整備、修理はお買い上げになった販売店やサービスセンターに依頼してください。
- + ドライブレコーダーのmicroSDカードの挿入口などに、金属類や引火性のものが入らないようにしてください。火災や感電の原因となります。
- + ドライブレコーダーの内部に、水、または異物が入った場合は、ただちに電源をオフにし、サービスセンターに修理を依頼してください。
- + 運転中は操作しないでください。交通事故の原因となります。
- + 製品および部品を使用するときは、(株)COWONシステムで販売している正規品を使用してください。弊社以外の製品および部品の使用による故障や事故に対しては、(株)COWONシステムは責任を負いかねます。
- + 長期間使用しない場合は、電源ケーブルを製品から取り外してください。車のバッテリーが放電したり、火災の原因になったりするおそれがあります。製品の損傷および車の損傷に対する責任はユーザー側にあります。
- + シガージャックケーブルを抜くときや差し込むときに、ぬれた手で触らないでください。感電のおそれがあります。
- + 電源ケーブルががたつかないようにしっかり差し込んでください。接点が不安定な場合、火災の原因となります。
- + 損傷したシガージャックケーブルは使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用になる前に

+ ご使用の際の注意事項

2. メモリカード、データ管理

- + 製品を安定的に使用するため、メモリカードを定期的にフォーマットすることをお勧めします。毎週1回以上フォーマットすることをお勧めします。
- + メモリカードは消耗品であり、定期的な点検及び交換が必要になります。メモリカードはメーカーの純正品の使用をお勧めします。
- + メモリカードを本体から取り外す場合は、必ずボタンを3秒以上押してから取り外してください。
- + メモリカードの容量が足りない場合には設定された規則により、以前の録画ファイルが削除されます。大事な録画ファイルは別のメモリ装置での保管をお勧めします。

3. 製品の設置、動作関連

- + 製品の取り付け場所を変更する場合、カメラの角度が変わる可能性がありますので、製品を取り付けてからカメラの角度を調整し、録画された映像を確認してください。間違った位置に取り付けた場合、正常な録画動作が行われない可能性があります。
- + 本体の起動中には録画ができません。起動が完了してから運行開始をお勧めします。
- + 本製品はカメラを利用して走行映像を記録するため、トンネルへの進入・進出の際や、被写体の陰影対比の差が大きい場合(強い逆光など)、まったく光がない真夜中などは、撮影した映像の画質が低下することがあります。
- + 製品は運転する人の視野を遮らない場所に取り付けてください。交通事故の原因となります。
- + バックアップバッテリーは寿命が制限される消耗品であり使用環境によっては寿命が短くなる場合がありますので動作が不安定になる場合は交換をお勧めします。
- + 車内を掃除するときは製品に水やワックスなどを直接噴射しないでください。製品の故障および感電の原因となります。

ご使用になる前に

+ ご使用の際の注意事項

4. 環境その他

- + 映像録画の妨げとなる過度に濃い着色フィルムは使用しないでください。着色フィルムの濃さによって映像のホワイトバランスが崩れるおそれがあります。
- + 最適な画質を確保するために、フロントガラスを録画前にきれいにしてください。
- + ドライブレコーダーのレンズに異物(指紋など)が付いている場合、録画映像に悪影響を与えるため、レンズは常にきれいな状態で維持してください。
- + レンズやドライブレコーダーに無理な力を加えると、故障の原因となるのでご注意ください。
- + 可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在する危険性のある場所では、本製品を使用しないでください。
- + 幼児や子供、またはペットの手足が届くようなところには保管しないでください。
- + 夏場に密閉された車内や直射光線の当たる場所など、温度の高いところに放置しないでください。製品の外観、または内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となります。
- + ドライブレコーダーを長時間使用する場合、内部で発生した温度によって接触する部位が火傷を負うおそれがあります。特に、長時間使用してからmicroSDカードを取り外すときは金属部に触れないようにしてください。
- + ドライブレコーダーを布やその他のカバーなどで覆わないでください。熱がこもって外観が変形したり、火災の原因になるおそれがあります。
- + 製品に化学物質や洗剤などを使用しないでください。やわらかい布を使って軽く拭ってください。
- + 個人情報保護法及び関連法令により、録画及び録音機能を利用して保存されたデータに対する法的責任は使用者側にありますので、製品利用時はご注意ください。

ご使用になる前に

+ パッケージの付属品



フロントカメラ



バックカメラ



製品の据置台
(フロント)



製品の据置台
(バック)



シガージャック
電源ケーブル



バックカメラケーブル



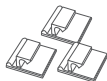
microSDカード
(2個)



microSDカード
リーダー



マニュアル&PC
ビューアーCD、クイ
ックガイド



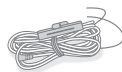
コード整理クリップ
(3個)



両面テープ
(フロント、バック)



外付けGPS受信機
(別売)



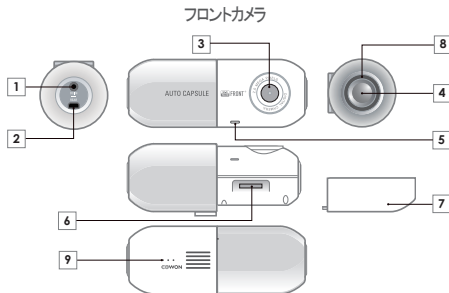
常時電源ケーブル
(別売)

- 製品の構成は仕様によって異なることがあります、お客様の理解を助けるためのものですので実物と違う場合があります。

- (株)COWONシステムで販売している正規品ケーブルを使用してください。

ご使用になる前に

+ 各部の名称と機能



製品の据置台
(フロント)

番号	名称	機能説明
1	電源端子	シガージャック電源ケーブル / 常時電源ケーブル接続端子
2	バックカメラ端子	バックカメラをつなぎます。1)
3	カメラレンズ	車の前方を撮影します。
4	ボタン 2)	1回押す - 音声録音 On/Off(基本)、 イベント発生(手動録画) 3) 2回押す - Wi-Fi On/Off 3秒以上長く押す - メモリカードの安全な取り 外し / 差し込む際にフォー ーマット 4)
5	マイク	音声録音マイク
6	メモリカード差 込口	メモリカードの差込口です。
7	後面カバー	メモリカードを差し込むときや取り外すとき に使用します。
8	動作ステータ スLED	各種の動作ステータスを表示します。
9	スピーカー	音声案内及び動作の効果音が出ます。

1) この端子はAW2バックカメラ専用端子で、他の機器とつなぐことはできません。

2) ボタンを押すと、フロント・バックカメラが同期され、同じ機能が実行されます。

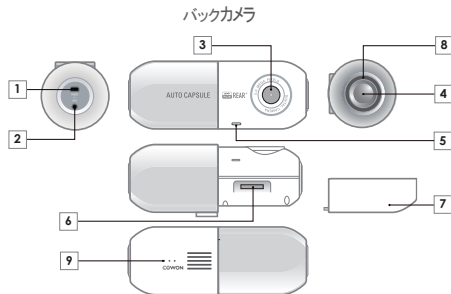
(ただし、安全な取り外し/フォーマットは個別動作)

3) '設定 → オーディオ → 音声録音 → ボタンで音声録音設定'で選択を解除すると、イベント設定に切り替わります。

4) 3秒以上長く押してから、また3秒以上押すとフォーマット動作

ご使用になる前に

+ 各部の名称と機能



製品の据置台
(バック)

番号	名称	機能説明
1	フロントカメラ端子	フロントカメラをつなぎます。1)
2	GPS	外付けGPS接続端子
3	レンズ	車の後方を撮影します。
4	ボタン 2)	1回押す - 音声録音 On/Off (基本)、 イベント発生 (手動録画) 3) 2回押す - Wi-Fi On/Off 3秒以上長く押す - メモリカードの安全な取り 外し / 差し込む際にフォー ーマット 4)
5	マイク	音声録音マイク
6	メモリーカード差 込口	メモリーカードの差込口です。
7	後面カバー	メモリーカードを差し込むときや取り外すとき に使用します。
8	動作ステータ スLED	各種の動作ステータスを表示します。
9	スピーカー	音声案内及び動作の効果音が出ます。

1) この端子はAW2フロントカメラ専用端子で、他の機器とつなぐことはできません。

2) ボタンを押すと、フロント・バックカメラが同期され、同じ機能が実行されます。
(ただし、安全な取り外し/フォーマットは個別動作)

3) 設定 → オーディオ → 音声録音 → ボタンで音声録音設定で選択を解除すると、イベント設定に切り替わります。

4) 3秒以上長く押してから、また3秒以上押すとフォーマット動作

ご使用になる前に

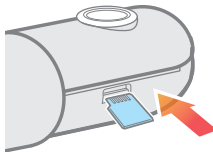
+ オートカプセルの設置

1



保護カバーを図のように横にスライドさせて分離します。

2



メモ리카ードを製品に差し込みます。*

3



保護カバーを矢印の方向にスライドさせて閉じます。

4



フロントカメラ

バックカメラ

製品の据置台にAW2を装着します。

* 間違った方向に無理やり差し込むと破損や故障の原因となり、有償サービスの対象となります。

ご使用になる前に

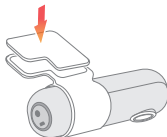
+ オートカプセルの設置

5



両面テープの片面の剥離紙をはがします。

6



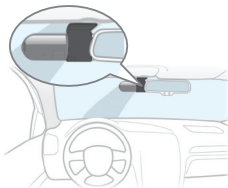
両面テープの剥離紙をはがした面を製品の据置台に貼り付けます。

7



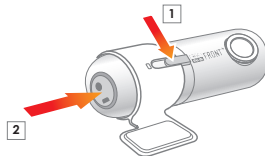
貼り付けた両面テープの剥離紙をはがします。

8



車の内部に設置する位置を決め、異物や水気などをきれいに拭き取ってから製品を設置します。

+ 製品の分離



オートカプセル本体の1番の部分を押した状態で電源端子部分(2番)を押すと、簡単に分離できます。

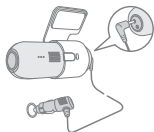
- カメラレンズを1番と同じ線上に合わせると分離しやすいです。

- * 設置する位置は、ルームミラーの裏側などフロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- * 一度固定してからのがすと、接着力が著しく低下するため、慎重に位置を決めてから設置してください。

ご使用になる前に

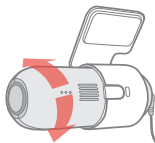
+ オートカプセルの設置

9



シガージャック電源ケーブルを接続します。

10



カメラレンズの方向を調整します。
1) 2) 3)

11



紫色のLEDが回転して赤色のLEDに変われば録画がはじまります。

- 1) スマートマネージャーの「ライブビュー」機能を利用すれば便利に調整できます。
PCマネージャーで録画映像を確認しながら調整することもできます。
- 2) フロントカメラの場合、録画画面の下段に車のボンネットが約10~20%見えるよう、カメラレンズの角度を調節します。
- 3) バックカメラの場合、録画画面の上段に上空が約20~30%見えるよう、カメラレンズの角度を調節します。



10 ~ 20%

フロントカメラのお勧め角度



20 ~ 30%

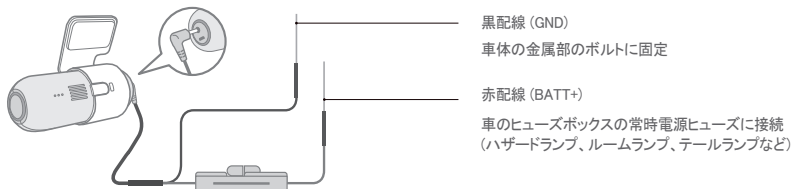
バックカメラのお勧め角度

ご使用になる前に

+ 常時電源の接続(常時電源ケーブルは別売りになります。)

常時電源に接続すると、車のエンジンを停止した駐車の状態でも録画ができます。

- 常時電源を設置するときは内容を完全に熟知してから設置してください。
- 各配線は必ず指定された位置に固定しなければなりません。
(配線を誤って接続すると、逆電圧が発生してドライブレコーダーに深刻な問題が発生するおそれがあります)



- + 常時電源は車の内部にあるヒューズボックスから配線を接続して設置してください。
- + 本製品は、製品機能を保護するため、高温環境では録画を自動的に中断します。
- + 自動録画中断時には RED/BLUE LED が繰り返し点滅し、温度が下がると自動的に動作が再開されます。

+ 録画開始

電源を接続すれば、動作ステータスLEDが紫色に回転し、オートカプセルがはじまる音声案内が流れます。その後、走行録画がはじまる音声案内とともに、動作ステータスLEDが赤色になって録画がはじまります。

+ 走行録画

電源が接続されると赤色LEDが点灯し、音声案内の後に走行録画がはじまります。
走行録画ファイルは一般ファイルまたはイベントファイルとして記録されます。

+ 駐車録画 ¹⁾

車のエンジンが停止してバッテリーが駐車電圧の状態になると、走行録画を中止して録画待機状態に転換した後、外部の衝撃や動きが感知された場合のみ、自動で一定時間録画するモードです。 ²⁾

+ 録画終了

オートカプセルの動作中に車のエンジンが停止したり、電源ケーブルがはずされると、バックアップバッテリーで最後の録画ファイルを保存した後に、電源がオフになります。 ³⁾

¹⁾ 駐車録画をするためには、常時電源を接続しなければなりません。

²⁾ 設定から「連続録画」を選択すれば、駐車中でも録画を続けられます。

³⁾ バックアップバッテリーの充電が不十分な状態では最後の録画ファイルが保存されないおそれがあります。

+ イベント発生

下記の2つのイベントが発生したとき、発生時点を基準に約5秒前から計1分間録画し、イベント(EVT)ファイルに記録します。

1. 走行/駐車録画中に衝撃を感知したとき
2. 走行/駐車録画中にボタンを短く1回押したとき ¹⁾

+ モーション感知

駐車録画中に動きを感知したとき、感知した時点を基準に約5秒前から計1分間録画し、モーション(MOT)ファイルに記録します。 ²⁾

- 1) '設定 → オーディオ → 音声録音 → ボタンで音声録音設定'で選択を解除すると、イベント設定機能がOnになります。
- 2) 駐車録画中、LEDの光の反射によりモーションファイルが生成され続ける場合には、オートカプセル設定 → 装置 → 駐車録画時LED点灯を取り消し(OFF)してください。

+ 動作ステータスLEDの説明

区分	動作	状態	色	点滅周期
録画	Wi-Fi Off	走行録画 / 駐車連続録画	赤色	常に点灯
		駐車録画中待機	赤色	ゆっくり点滅
		イベント(衝撃、ボタン) / モーション	赤色	速い点滅
		Wi-Fi Off 進行中	赤色	回転
	Wi-Fi On	走行録画 / 駐車連続録画	青色	常に点灯
		駐車録画中待機	青色	ゆっくり点滅
		イベント(衝撃、ボタン) / モーション	青色	速い点滅
		Wi-Fi On 進行中	青色	回転
システム		起動、フォーマット	紫色	回転
		高温保護機能、メモ리카ードなし	紫色	ゆっくり点滅
		エラー、お知らせ(安全な取り外し状態など)	紫色	速い点滅
		ファームウェアのアップグレード	赤 - 青が交互に点灯	速い点滅

基本機能

+ メモリカードの安全な取り外し及びフォーマット

－メモリカードの安全な取り外し及びフォーマット

動作中に任意でメモリカードを取り外した場合、録画中のファイルは正常に保存されず、メモリカードに深刻な損傷を与えるおそれがあるため、必ず安全に取り外してからメモリカードを抜いてください。

* 製品を安定的に使用するため、メモリカードを周期的にフォーマットすることをお勧めします。



- 1.動作中、AW2の側面にあるボタンを3秒以上長押しすると、効果音と「メモリカードが安全に取り外されました」という音声案内とともに、動作ステータスLEDが紫色で速く点滅します。
- 2.保護カバーを開いてメモリカードを抜くと、「メモリカードがありません」という音声案内とともに、動作ステータスLEDが紫色で点灯します。
- 3.取り外したメモリカードをAW2に再び差し込むと、動作ステータスLEDは青色で速く点滅し、「ボタンを押すと、メモリカードのフォーマットをはじめます」という音声案内が流れます。
- 4.側面のボタンを3秒以上長押しすると、「フォーマットをはじめます」という音声案内とともにフォーマットが開始されます。
- 5.フォーマットが完了すると、「フォーマットが完了しました」という音声案内とともにフォーマット作業が終了します。

* PCマネージャープログラムでもフォーマットできます。

* PCでフォーマットする場合は、ファイルシステム(F)は「FAT32」、割り当てる単位サイズ(A)は「32KB」で設定してください。

基本機能

+ ボタン動作の説明

オートカプセルのボタン操作は下記の通りです。

ボタンを短く押す	ボタンを2回押す	ボタンを長く押す
ボタンを押すと、フロント・バックカメラが同期され、同じ機能が実行されます。1)	Wi-Fiをオン/オフします。	メモ리카ードの安全な取り外しを実行します。 メモ리카ードを差し込むときに、フォーマットを実行します。

1) '設定 → オーディオ → 音声録音 → ボタンで音声録音設定'で選択をキャンセルすると、手動録画でイベントファイルに記録されません。

+ 付加機能

- 高温保護機能

高温の環境では製品機能の保護のために自動で録画を中断し、高温保護機能が実行されます。
高温保護機能を実行するときは「高温保護のために録画を中止します」という音声案内とともに、動作ステータスLEDは紫色でゆっくり点滅します。温度が下がれば自動で動作を再開します。

- リセット機能

オートカプセルに問題が発生して異常な状態が5分以上続く場合、電源ケーブルを抜いてオートカプセルを完全に終了させてから再び接続してください。

+ ファイルの管理

録画ファイルはメモ리카ードのRecordingsフォルダに保存されます。

ファイル名は録画時刻を基準に「年月日-時分秒_ファイルの種類_録画モード_F/R.MP4」の形式で表示されます。

録画モード及び状態	ファイル名
走行録画(一般)	年月日-時分秒_NOR_D_F / 年月日-時分秒_NOR_D_R
走行録画(イベント)	年月日- 時分秒_EVT_D_F / 年月日- 時分秒_EVT_D_R
駐車録画(モーション)	年月日- 時分秒_MOT_P_F / 年月日- 時分秒_MOT_P_R
駐車録画(イベント)	年月日- 時分秒_EVT_P_F / 年月日- 時分秒_EVT_P_R
駐車録画(連続録画設定)	年月日- 時分秒_NOR_P_F / 年月日- 時分秒_NOR_P_R

* NOR : 一般ファイル/ EVT : イベントファイル/ MOT : モーションファイル

* D : 走行録画/ P : 駐車録画

* F : フロント / R : バック

* 例) 走行中の2013年11月8日午前9時56分09秒に生成された一般ファイル ▶ 20131108-095609_NOR_D_F.mp4

駐車中の2013年11月9日午後11時07分35秒に生成されたイベントファイル ▶ 20131109-230735_EVT_P_R.mp4

駐車中の2013年12月23日午後4時32分50秒に生成されたモーションファイル ▶ 20131223-163250_MOT_P_F.mp4

応用機能

+ スマートマネージャーのWi-Fi接続

内蔵されたWi-Fiを利用し、スマートフォンのアプリケーションであるスマートマネージャーを通して、素早く便利に録画された画面を確認できます。リアルタイムの映像を確認できるライブビュー機能が提供され、各種の設定が簡単にできます。¹⁾

+ オートカプセルのWi-Fi ON/OFF



側面のボタンを2回押すと、Wi-Fi開始の音声案内とともに、動作ステータスLEDが青色に回転し、Wi-Fiが接続されると青色に点灯します。Wi-Fiの利用後、スマートマネージャーを終了するか、ボタンを再び2回押すと、Wi-Fiの接続を終了します。

+ スマートフォンから初めて接続

スマートマネージャーを初めて実行する場合、ネットワーク登録の手続きが必要です。

* アンドロイド : 設定 → 無線とネットワーク → Wi-FiをONにする → ネットワークの中から「COWON-AW2」を選択 → パスワード入力

* iPhone、iPod : 設定 → Wi-FiをONにする → ネットワークを選択 → ネットワークの中から「COWON-AW2」を選択 → パスワード入力

初期ネットワーク名 : COWON-AW2

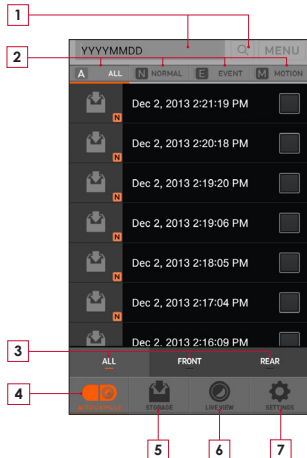
初期パスワード : 1234567890 ²⁾

¹⁾ Wi-Fiの動作中には録画品質が低く調整される場合があります。

²⁾ 個人情報を保護し、オートカプセルを安全にご使用いただけるよう、パスワードは必ず変更してください。
PCマネージャーの設定からもパスワードを変更できます。

+ スマートマネージャー

- アンドロイドスマート機器のユーザーの場合、Google Play Storeからダウンロードできます。
- iPhone、iPodのユーザーの場合、アップルの App Storeからダウンロードできます。
- 検索ウィンドウにCOWON、オートカプセル、スマートマネージャー、AW2などの単語を入力してください。



1	スマートフォンのキーボードから年月日を入力してファイルを検索します。 例) 2013年11月08日に録画したファイルの検索 → 20131108を検索
2	選択した種類の録画ファイルがリストに表示されます。 ALL : 全体 / NORMAL : 一般 / EVENT : イベント / MOTION : モーション
3	ALL: フロント、バックカメラが録画したファイルがリストに表示されます。 FRONT: フロントカメラが録画したファイルがリストに表示されます。 REAR: バックカメラが録画したファイルがリストに表示されます。
4	オートカプセルに録画されたファイルがリストに表示されます。
5	スマートマネージャーでダウンロードしたファイルを再生することができます。 ¹⁾
6	ライブビュー機能により、録画中のリアルタイムの映像を確認します。
7	ユーザーに合った様々な環境を設定し、オートカプセルのデータを確認します。

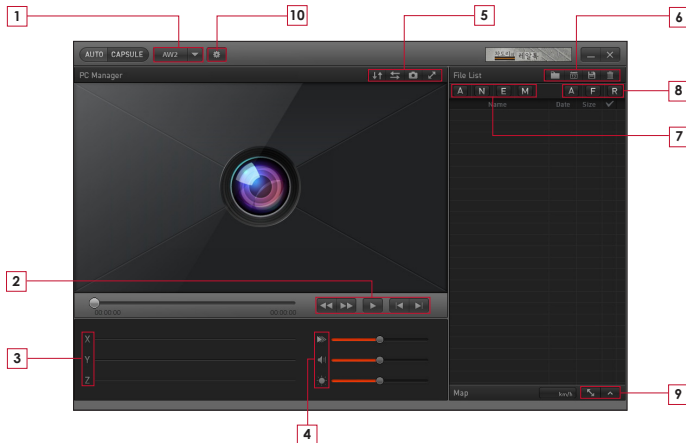
* iPhone、iPod の場合は下段にログイン/ログアウトのタブがあります。接続の際に必ずログインタブを押さないと正常に接続されません。

- 1) 基本のビデオ再生プレイヤーでファイルの再生ができない場合、Google Playや App Storeから専門のメディア再生プレイヤーをダウンロードしてください。(例:MX プレイヤーなど)
スマート機器の性能により、ファイルがスムーズに再生できない場合があります。

応用機能

+ PCマネージャー

PCマネージャーは付属のCDまたはホームページからダウンロードできます。



* PCマネージャーでフロント、またはバックカメラの設定を変更するためには、そのカメラのメモリカードをPCにつなぎ、PCマネージャー設定画面のフロント、またはバックカメラ設定タブを選択して設定を保存してください。スマートマネージャーを使うと、フロント・バックカメラに設定値がすぐ適用するため、便利です。

+ PCマネージャー

1		ご利用のAW1/AW2製品を選択します。
		再生中の映像を巻き戻し/早送りします。
2		選んだファイルを再生します。
		前/次のファイルを再生します。
3		GセンサーのX、Y、Z軸の衝撃量を表示します。
		再生速度を設定します。
4		ボリュームを調節します。
		再生中の映像の明るさを調節します。
5		再生中の映像の上下を反転させます。
		再生している映像を左右反転させます。
		現在再生中の映像をキャプチャします。
		フル画面に転換します。

		記録されている映像ファイルのフォルダを探します。
6		選んだ日付に記録されたファイルを整列します。
		選んだ映像ファイルをPCに保存します。
		選んだ映像ファイルを削除します。
		記録されている全てのファイルのリストを表示します。
7		一般ファイルだけをリストに表示します。
		イベントファイルだけをリストに表示します。
		モーションファイルだけをリストに表示します。
		フロント・バック映像をリストに表示します。
8		フロントの映像をリストに表示します。
		バックの映像をリストに表示します。
9		GPSファイルがある場合は、地図をフルサイズで表示します。
		GPSファイルがある場合は、地図を表示します。
10		ユーザーに合った様々な環境を設定します。

+ フロント・バック録画の同期

一般録画状態では、フロントカメラの設定基準によってフロント・バックカメラが同期的に動作します。1つのカメラが高温保護状態かメモ리카ードの安全な取り外しにより録画が中止されると、残りのカメラは自らの設定で単独動作します。

- ファイル名、録画ファイルの保存周期、駐車電圧、終了電圧などはフロントカメラの設定にしたがって動作します。
- Wi-Fi On/Off、ボタンで音声録音On/Offは常時フロント・バックカメラと一緒に動作します。

+ 自動終了タイマー

駐車録画モードに切り替わった後、設定された時間だけオートカプセルが動作し、時間が経過すると自動で電源がオフになる機能です。

自動終了タイマーはスマートマネージャー、PCマネージャーのプログラムを通して設定できます。

* オートカプセル設定 → 録画 → 自動終了タイマーから設定できます。

+ 駐車認識電圧の設定

スマートマネージャー、PCマネージャーのプログラムを通して駐車認識電圧を設定できます。

* オートカプセル設定 → 録画 → 駐車電圧から設定できます。

- 走行中に駐車録画モードに切り替わる場合、駐車認識電圧値を下げて設定してください。
- 駐車中に自動で駐車録画モードに切り替わらない場合は、駐車認識電圧値を高くして設定してください。
- 車バッテリーの出力電圧が駐車電圧の設定範囲より高いか低い場合は、'設定 → 録画設定 → 駐車録画 → 駐車電圧使用'をOFFにしてください。すると、車の動きのみを判断して駐車録画が実行されます。

+ 自動終了電圧の設定

駐車録画モードに切り替わった後、バッテリーの電圧が設定された電圧以下になると、バッテリー保護のために自動で電源がオフになります。

終了電圧はスマートマネージャー、PCマネージャーのプログラムを通して設定できます。

* オートカプセル設定 → 録画 → 駐車電圧から設定できます。

- オートカプセルが駐車録画モードに切り替わり、待機動作の時間が短くなる場合、自動終了電圧の範囲を下げて設定してください。
- 電圧設定値が低いほど駐車録画の待機時間が長くなり、設定値が高いほど駐車録画の待機時間は短くなります。
- 自動終了タイマーを設定しても、動作中に電圧が自動終了電圧の設定値以下に下がる場合、終了タイマーとは関係なく電源がオフになります。
- 自動終了電圧設定機能を使わない場合は、設定 → 録画設定 → 駐車録画 → 終了電圧使用をOFFにしてください。ただし、自動終了電圧設定機能を使わないと、車のバッテリーが放電して始動不良やエンジンが止まる恐れがありますため、ご注意ください。必ず、特別な目的にのみご利用ください。

* 駐車録画、自動駐車認識電圧、自動終了電圧の設定は常時電源を接続した場合のみ利用できます。

* 自動終了電圧の設定値が低いほど車のバッテリー放電のおそれが高まり、設定値が高いほど放電防止に効果的です。車のバッテリー状態に合わせて電圧値を設定してご利用ください。

+ 駐車中の連続録画

駐車中にも連続して録画し、録画されたファイルは一般(NOR)ファイルに記録されます。

* オートカプセル設定 → 録画 → 駐車録画から設定できます。

+ ファイル削除の設定

保存された録画ファイルによりメモ리카ードの容量が超過したときの削除方法を設定できます。

* オートカプセル設定 → 録画 → ファイル削除設定から設定できます。

容量を超過したときの削除方法	説明	備考
時間順	ファイルの種類に関係なく、最も古いファイルから削除します。	
一般、イベント、モーション	ファイルの種類別保存空間の設定割り当て値に従って削除します。	50%、30%、20% 60%、30%、10% 70%、20%、10%
一般 + モーション、イベント	一般 + モーション / イベントファイル保存空間の設定割り当て値に従って削除します。	70%、30% 80%、20%

+ Gセンサーの感度

走行及び駐車中にGセンサーに感知される、外部衝撃に対する感度を調節できます。

* オートカプセル設定 → 装置 → Gセンサー感度から設定できます。

－ X軸：自動車の中心を基準に進行方向の左右

－ Y軸：自動車の中心を基準に進行方向の前後

－ Z軸：自動車の中心を基準に上下

+ モーションの認識感度

駐車中にオートカプセルのレンズに感知される、モーション感知の感度を調節できます。¹⁾

* オートカプセル設定 → 装置 → モーション認識感度から設定できます。

¹⁾ 駐車録画中、LEDの光の反射によりモーションファイルが生成され続ける場合には、オートカプセル設定 → 装置 → 駐車録画時LED点灯を取り消し(OFF)してください。

追加説明

+ 製品仕様

項目	仕様	備考
レンズ	Full HD級広角レンズ、6 Glass構造	
イメージセンサー	1/2.7"大型True Full HD CMOSセンサー、1920X1080画素	
録画解像度	1 チャンネル：1920X1080P Full HD, 30fps 2 チャンネル：前方 - 1920X1080P Full HD, 30fps / 後方 - 1920X1080P Full HD, 30fps	
視野角	対角基準140°	
ビデオエンコード	H.264 (MPEG-4 AVC)	
録画ファイルの種類	一般ファイル(NOR)、イベントファイル(EVT)、モーションファイル(MOT) ¹⁾	
無線接続	Wi-Fi内蔵	スマート機器と無線接続
オーディオ録音	マイク	
バッテリー電圧管理	電圧感知回路を内蔵	自動終了電圧の設定、自動終了タイマー、自動駐車録画の実行 ²⁾
ソフトウェア	スマートマネージャー(アンドロイド及びiOS対応)	ライブビュー、ダウンロード、再生、共有、無線ファームウェアのアップグレード、無線フォーマット、設定など
	PCマネージャー(Windows PC用)	ファイル再生、画面キャプチャ、設定、地図表示 ³⁾
サイズ及び重量	380 X 102mm / フロントカメラ：78g、バックカメラ：77g	
保存メモリ	最大64GBの前後方デュアルメモリ支援(各カメラにつき最大32GB)	
動作温度	-20°C～60°C	
電源	DC 12V～24V	
その他	Gセンサー、スピーカー、動作ステータスLED、外付けGPS端子	

¹⁾ モーションファイルは常時電源に接続した場合のみ利用できます。

²⁾ 常時電源ケーブルを接続した場合に動作します。

³⁾ 外付けGPS受信機を利用して録画したファイルのみ確認可能です。

DIGITAL PRIDE.

COWON